

平成 27 年度

市道渡 84 号線道路修正設計業務委託

土 質 試 験 報 告 書

平成 28 年 3 月

境港市建設部管理課  
株式会社広洋コンサルタント

## 目 次

第1章 業務概要	1
第2章 調査方法	5
2-1 変状土試料採取	5
2-2 変状土CBR試験（室内試験）	5
第3章 試験結果	6
3-1 試験結果	6

### 《 卷末資料 》

1. 簡易柱状図
2. CBR 試験データ
3. 管理写真
4. リサイクル盛土材(エコソイルR)資料

## 第1章 業務概要

- 1-1 業務名称 : 市道渡 84 号線道路修正設計業務委託
- 1-2 業務場所 : 境港市渡町
- 1-3 業務目的 : 路床部を構成する土質のCBR値測定及び評価
- 1-4 業務内容 : 変状土試料採取 3箇所  
室内土質試験(設計CBR試験) 3試料
- 1-5 業務期間 : 平成 27 年 6 月 30 日 ~ 平成 28 年 3 月 18 日
- 1-6 業務位置 : 以下に調査位置図を示す。

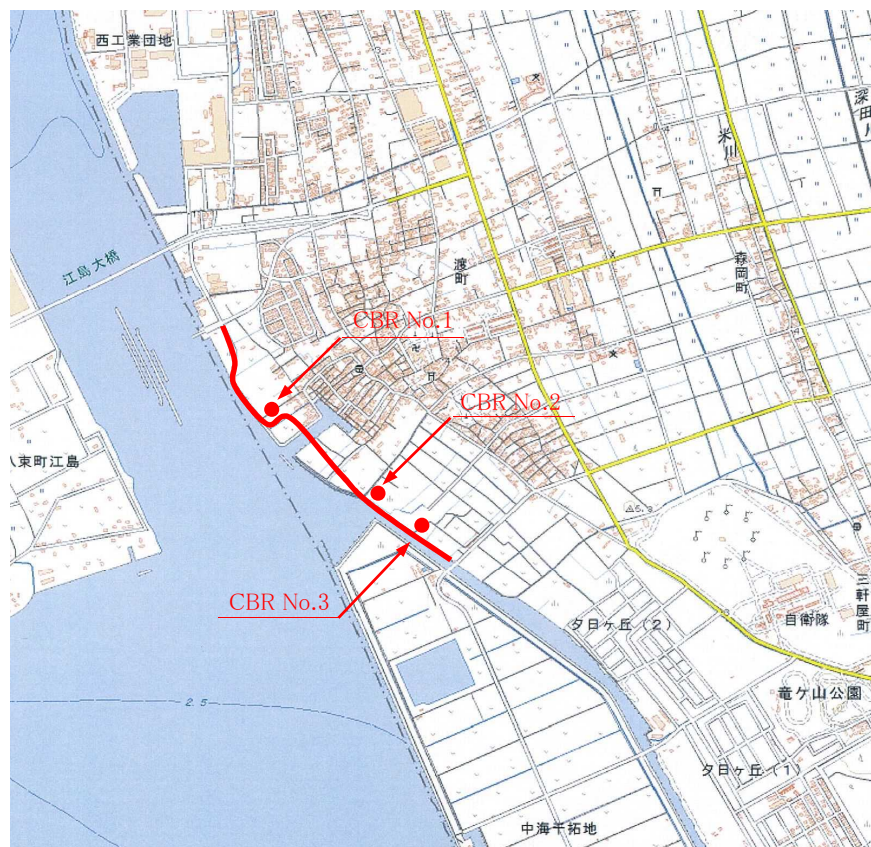
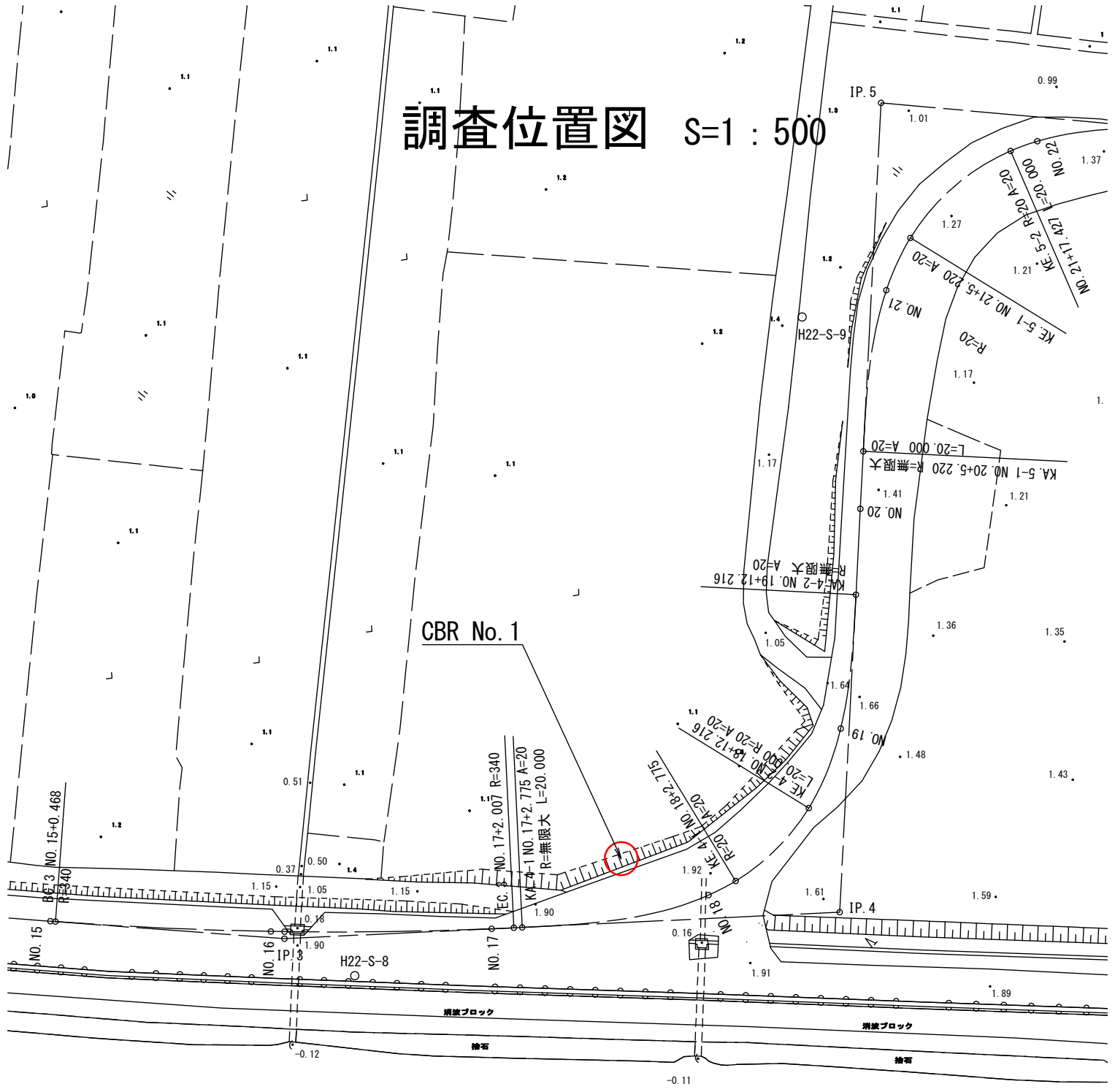


図 1-1 試料採取位置図(ノンスケール)

# 調査位置図 S=1 : 500



中海

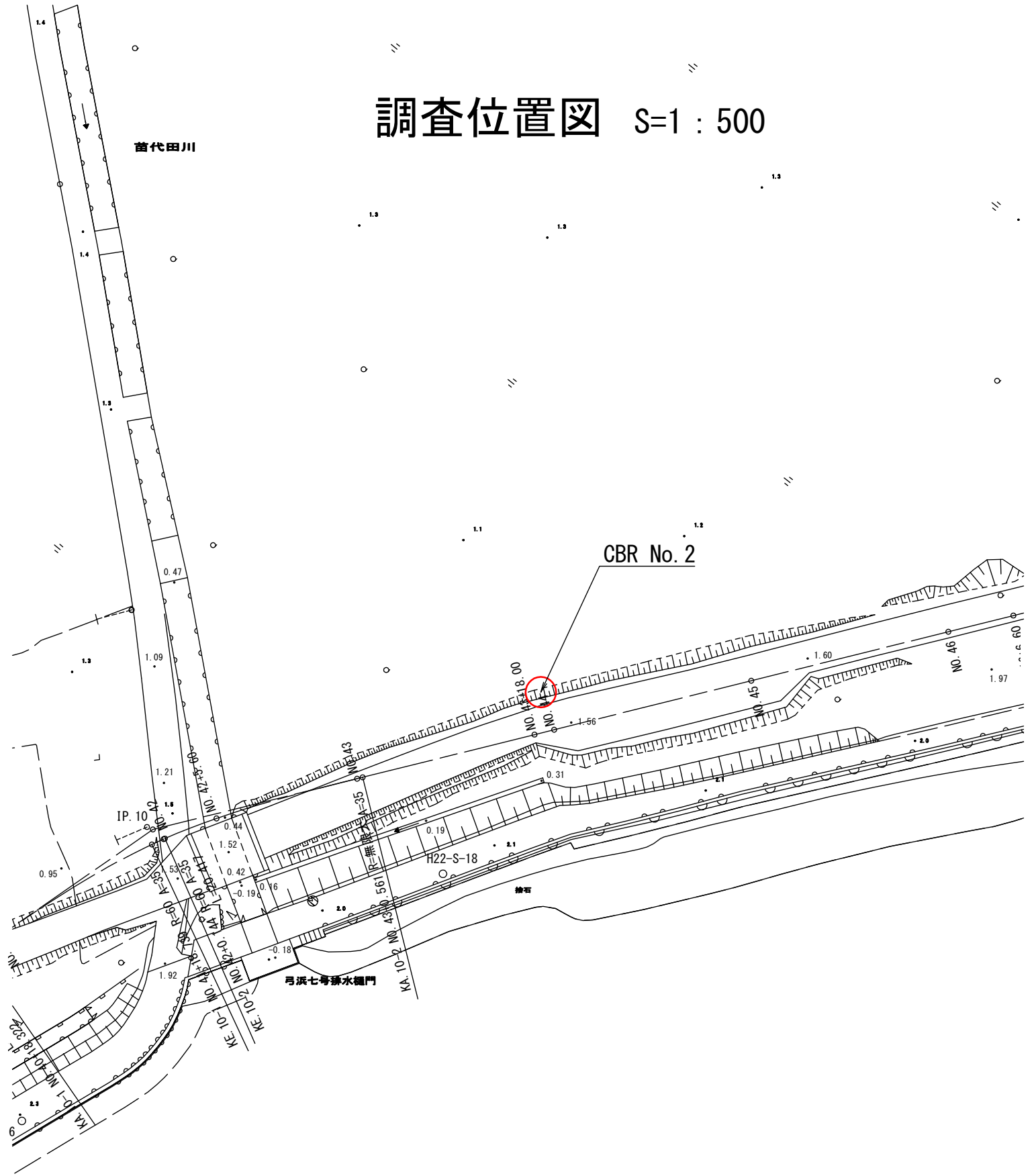
# 調査位置図 S=1 : 500

苗代田川

CBR No. 2

弓浜七号排水樋門

繪石



中海

# 調査位置図 S=1 : 500

残土置き場

CBR No. 3

H22-S-22



## 第2章 調査方法

### 2-1 変状土試料採取

#### 2-1-1 人力掘削

ショベル、両スコにて規定の深度まで掘削した。大きな礫等が出現した場合は必要に応じバールを使用した。

#### 2-1-2 試料採取

掘削した土砂は土質分類ごとに分け、そのうち必要なものだけを土のう袋に入れ持ち帰った。

#### 2-1-3 埋戻し、復旧

試料を採取した後、あらかじめ準備しておいた土砂にて埋戻しを行い、入念に締固め現況復旧を行った。

### 2-2 変状土CBR試験(室内試験)

#### 2-2-1 試験概要

室内試験については、JIS 規格に基づき直径 15cm のモールドに土質試料を入れ、4.5kg のランマーにより突き固めて(各層 67 回×3 層)供試体を作製し、直径 5cm のピストン(貫入棒)を 1mm/min の速度で貫入する時の荷重強さを測定するものである。試験条件としては、舗装の下位からの浸水による含水量増加を想定して、供試体を 4 日間(96 時間)水浸させる必要がある。

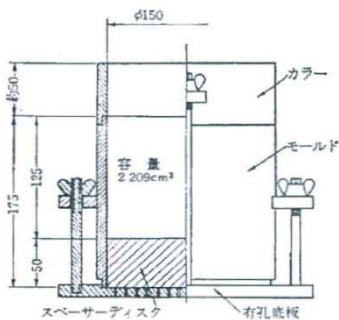


図 2-1 モールド

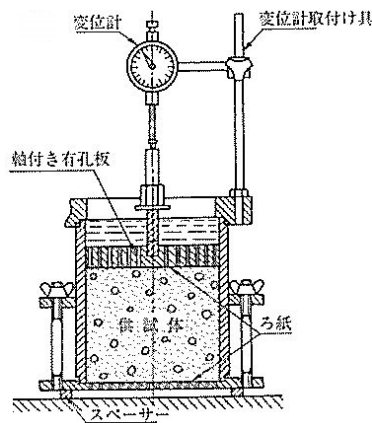


図 2-2 吸水膨張試験機

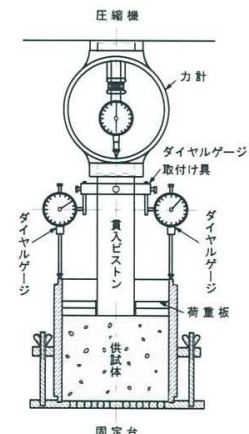


図 2-3 貫入試験機

## 第3章 試験結果

### 3-1 試験結果

3-1-1 試験結果を表 3-1 に示す。

表 3-1 CBR試験結果一覧表

採取位置	項目	採取深度 (m)	CBR 値 (%)	自然含水比 W <sub>n</sub> (%)	土質	備考
CBRNo.1		GL-0.00 ~GL-1.00m	65.2	51.3	砂質礫	リサイクル盛土材 (エコソイル R)
CBRNo.2		GL-0.00 ~L-0.80m	54.7	50.6	砂質礫	リサイクル盛土材 (エコソイル R)
CBRNo.3		GL-0.00 ~GL-1.00m	83.5	15.6	礫混じり砂	真砂土

#### 3-1-2 考察

##### <CBR No.1>

試料採取位置は工事用道路の路肩部に位置し、隣地の畑との高低差は約 0.7m 程度である。天端より、1m 程度の深度までよく締まったφ2~φ150mm の礫径で暗褐色の砂質礫が盛られている。

##### <CBR-2>

試料採取位置は工事用道路の路肩部に位置し、隣地の畑との高低差は約 0.7m 程度である。天端より、1m 程度の深度までよく締まったφ2~φ150mm の礫径で暗褐色の砂質礫が盛られていると推測される。ただし、この地点については GL-0.8m 付近に地下水位を確認したため掘削を中止した。

##### <CBR-3>

試料採取位置は工事用道路の路肩部に位置し、隣地の畑との高低差は約 0.5m 程度である。GL-0.1~GL-0.3m 付近にて路盤材の一部が混入したが、盛土材の主体は比較的よく締まった礫混じり砂(真砂土)である。

尚、試験データ、簡易柱状図は巻末に添付した。